

平成 30 年 12 月期

横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のピックアップ》

- インフルエンザ流行注意報が発令されています。
- 伝染性紅斑の流行警報が発令されています。
- 風しんの報告数が多い状態が続いています。

全数把握の対象

【12 月期に報告された全数把握疾患】

細菌性赤痢	1 件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 件
腸管出血性大腸菌感染症	4 件	後天性免疫不全症候群(HIV 感染症含む)	4 件
E 型肝炎	2 件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 件
A 型肝炎	2 件	侵襲性肺炎球菌感染症	13 件
デング熱	1 件	水痘(入院例に限る)	1 件
レジオネラ症	3 件	梅毒	10 件
アメーバ赤痢	4 件	百日咳	39 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7 件	風しん	31 件
急性脳炎	3 件	麻しん	2 件
クロイツフェルト・ヤコブ病	1 件		

- 1 細菌性赤痢:ハワイでの感染と推定される報告(sonnei(D 群))が 1 件ありました。
- 2 腸管出血性大腸菌感染症:O157 の報告が 2 件(うち 1 件が無症状病原体保有者)、O128(無症状病原体保有者)の報告が 1 件、O 不明(無症状病原体保有者)の報告が 1 件ありました。
- 3 E型肝炎:経口感染と推定される報告が 2 件ありました。
- 4 A 型肝炎:経口感染または異性間の性的接触と推定される報告が 1 件、経口感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 5 デング熱:マレーシアでの蚊からの感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 6 レジオネラ症:肺炎型の報告が 3 件あり、感染経路等不明です。
- 7 アメーバ赤痢:腸管アメーバ症の報告が 4 件(異性間の性的接触が 2 件、経口感染が 1 件、感染経路等不明が 1 件)ありました。
- 8 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:7 件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 9 急性脳炎: 小児の報告が 2 件(病原体不明)、60 歳代の報告が 1 件(風しんウイルス)ありました。
- 10 クロイツフェルト・ヤコブ病: 古典型 CJD の報告が 1 件ありました。
- 11 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 50 歳代と 80 歳代の報告が 1 件ずつありました。
- 12 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む): AIDS の報告が 2 件(国内での同性間の性的接触)、無症状病原体保有者の報告が 2 件(いずれも同性間の性的接触で、中国および国内での感染が 1 件ずつ)ありました。いずれも男性でした。
- 13 侵襲性インフルエンザ菌感染症:70 歳代の報告が 2 件ありました。
- 14 侵襲性肺炎球菌感染症:幼児の報告が 1 件(ワクチン接種 3 回)、10 歳代の報告が 1 件(ワクチン接種不明)、40 歳代および 50 歳代の報告が 1 件ずつ(ワクチン接種不明)、70 歳代の報告が 5 件(ワクチン接種あり 1 件、なし 3 件、不明 1 件)、80 歳代の報告が 4 件(ワクチン接種あり 3 件、なし 1 件)ありました。
- 15 水痘(入院例に限る):20 歳代の臨床診断例の報告が 1 件(ワクチン接種なし)ありました。
- 16 梅毒:10 件の報告(無症状病原体保有者 6 件、早期顕症梅毒 I 期 2 件、早期顕症梅毒 II 期 1 件、晩期顕症梅毒が 1 件)がありました。感染経路は、異性間の性的接触が 4 件、同性間の性的接触が 1 件、詳細不明の性的接触が 1 件、母子感染の推定が 1 件、感染経路不明が 3 件でした。男性 6 件、女性 4 件でした。
- 17 百日咳:10 歳未満では乳児が 4 件(ワクチン接種あり 2 件、なし 2 件)、小児が 20 件(ワクチン接種あり 16 件、不明 4 件)の報告があり、10 歳代で 11 件(ワクチン接種あり 8 件、不明 3 件)、30 歳代で 3 件(ワクチン接種

不明)、40歳代で1件(ワクチン接種不明)の報告がありました。

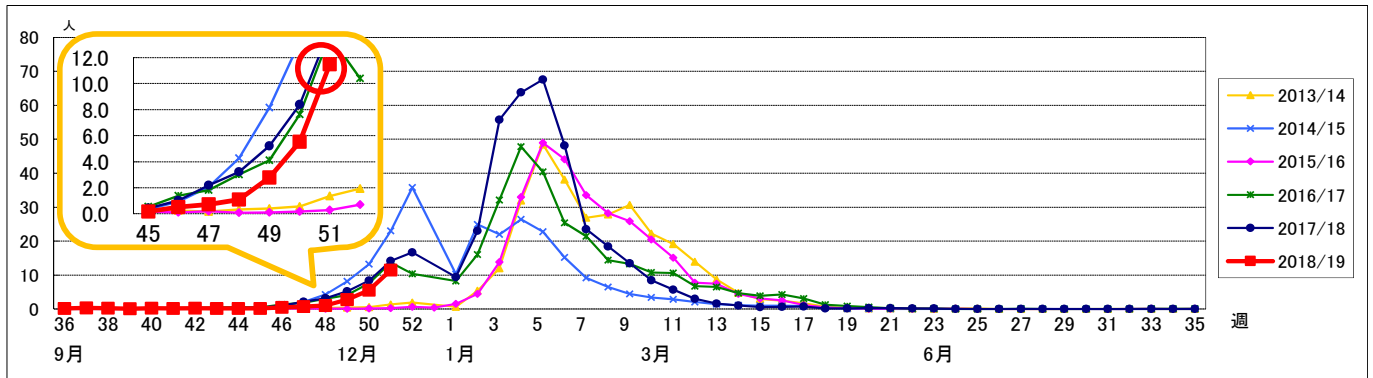
18 風しん:検査診断例 30 件、臨床診断例 1 件が報告されています。幼児が 1 件(ワクチン接種なし)、20 歳代が 11 件(ワクチン接種あり 3 件、なし 2 件、不明 6 件)、30 歳代が 6 件(いずれもワクチン接種不明)、40 歳代が 6 件(ワクチン接種なし 2 件、不明 4 件)、50 歳代が 6 件(いずれもワクチン接種不明)、60 歳代 1 件(ワクチン接種不明)でした。男性 25 件、女性 6 件でした。

19 麻しん:タイでの感染が推定される報告が 1 件、その接触者の報告が 1 件ありました。

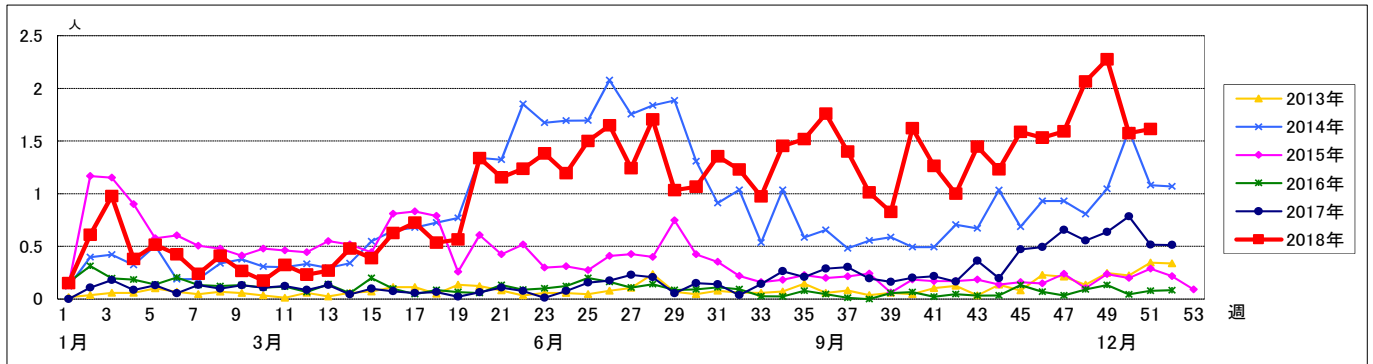
定点把握の対象

1 インフルエンザ【注意報発令中】:第 48 週にて定点あたり 1.08 となり、流行開始の目安(定点あたり 1.00)を上回りました。さらに第 51 週は 11.47 と増加し、注意報発令基準(10.00)を上回りました。

平成 30 年 週一月日対照表	
第 48 週	11 月 26 日 ~ 12 月 2 日
第 49 週	12 月 3 日 ~ 9 日
第 50 週	10 日 ~ 16 日
第 51 週	17 日 ~ 23 日



2 伝染性紅斑【警報発令中】:2017 年第 45 週頃より増加傾向となり、例年と比べて高値で推移していましたが、第 48 週にて 2.07 にて警報発令基準(2.00)を上回りました。第 51 週は 1.62 と高値が続いています。



3 性感染症:11 月

性器クラミジア感染症	男性:23 件	女性:28 件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性: 3 件	女性:12 件
尖圭コンジローマ	男性: 9 件	女性: 6 件	淋菌感染症	男性:12 件	女性: 2 件

4 基幹定点週報:

	第 48 週	第 49 週	第 50 週	第 51 週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	1.00
マイコプラズマ肺炎	0.75	0.75	0.25	1.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報:11 月

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2 件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1 件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0 件		

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>